

## 2003年度（平成15年度）温室効果ガス排出量の算定方法について（案）

2003年度（平成15年度）の温室効果ガス排出量を含む2005年提出温室効果ガス排出・吸収目録（インベントリ）においては、以下に示す若干の変更を行うほかは、基本的に前回（2002年度排出量）・前々回報告（2001年度排出量）のものと同じ算定方法を用いることとする。

なお、報告形式については前回報告同様に、気候変動枠組条約に対し、インベントリデータを共通報告様式にて報告するとともに、その算定方法等を記載した国家インベントリ報告書を提出する。

## エネルギー・工業プロセス分野

## 廃棄物分野

- ・2003年のインベントリに関する訪問審査において、排出係数の設定にあたり吸気補正を行っていること及びガス間の活動量データが不一致であることについて修正すべきとの指摘を受けたため、算定方法を変更する。（資料3）

エネルギー・工業プロセス分野の石油精製過程等における炭素収支については、引き続き検討することとする。（資料4）

## 廃棄物分野

- ・生活・商業排水の処理に伴う排出（し尿処理施設）における $N_2O$ の排出及び下水汚泥（産業廃棄物）の焼却における $N_2O$ の排出の算定方法について、新たな知見が得られたため変更する。（資料5）

## 運輸分野

## 農業分野

## HFC等3ガス分野

- ・算定対象とする排出源、活動量の把握方法、算定式、排出係数の算出方法等について、いずれも前回と変更なし。

## 森林吸収・土地利用変化（LUCF）分野

- ・1996年以降のデータが未入手であるため、データの更新は行っていない。
- ・COP9及びCOP10での決議事項を踏まえ、LULUCF-GPGに対応した算定・報告方法を検討する必要がある。